校報　第９号
２学期最終号

やまびこ

2023年12月末
甲賀市立
多羅尾小学校

多羅尾小学校ホームページもどうぞ ご覧ください。http://edu.city.koka.lg.jp/taraosyo/

多羅尾小ホームページ

年末年始の行事の意味を知ろう

二学期が今日で終わります。二月期の始業式のころのあの暑さを覚えていますか。夏がいつの間にか過ぎ去り、秋になり、そして冬がやってきました。3つの季節にまたがった長い二学期でした。みんなの奮闘に心から拍手を送りたいと思っています。

さて、年末年始には大きな行事がいくつもあります。とても楽しみですね。ただ楽しむだけでなく、その意味もよく知ってほしいと思います。

多くの人が楽しみにしている。クリスマス。クリスマスは「サンタさんが来る日」ではありません。本当はキリスト教を信じる人たちにとっての大事な記念日です。イエスキリストの誕生を祝う記念日だそうです。つまり外国で行われていた行事が日本に伝わってきたのです。日本では今から約120年ほど前、明治時代から少しずつ盛んになってきました。その当時人気のあったプレゼントは「歯磨き粉」だったそうです。

では、日本でもっと昔からある年末年始の行事は何でしょうか。12月31日は大晦日と言いますね。晦日とは、毎月の最後の日のことを言います。例えば。11月の最後の日は30日。11月30日は晦日です。晦日は毎月あるのです。そして、一年の最後の日だけは「大」をつけて「大晦日」と言うのです。この大晦日にはいろいろな行事があります。まず、年越し蕎麦。皆さんのお家でも大晦日にお蕎麦を食べることが多いと思います。どうしてお蕎麦を食べるのでしょうか。これにはいろいろな説があります。まず、お蕎麦は細くて長いので、細く長く健康に暮らせると考え。次に、昔、金箔をつくる職人さんが、飛び散った金箔を集めるのに蕎麦団子を使ったことから、蕎麦はお金を集める縁起物という考えもあるようです。いずれにしても、大晦日にお蕎麦を食べるととても縁起がよいと考えられてきたのです。次に除夜の鐘です。除夜の鐘が鳴るのは神社ですか。お寺ですか。そう鐘があるのはお寺です。鳥居のある神社には鐘がありません。除夜の鐘は108回鳴らされます。この回数に決まっています。仏教では人間には108つの煩悩があると言われています。煩悩というのはむずかしいですが、簡単に言うと人の心を迷わせたり、くよくよ悩ませたりする元になるものと言っていいでしょう。それを大晦日には108回鐘を鳴らして一つひとつ取り払うのです。そう言えば、あのゴーン、ゴーンという鐘の音を聞くたびに心が軽くなっていくような気持ちさえします。108回の鳴らし方にも決まりがあるそうです。107回までは大晦日のうちに鳴らします。108回目、つまり最後の1回だけは、真夜中の新年になってから鳴らすのだそうです。

お正月。皆さんの知っているとおり、新しい年をお祝いする大事な祝日です。お正月には、作物をたくさん実らせてくれたり、みんなの健康を守る神様がやってくると考え、それを鏡餅や松飾りでお迎えしてみんなでお祝いする日なのです。昔はこれにもう一つのお祝いが含まれていました。元日は、国民全員が一斉に一歳年を取る日だったのです。今は、生まれたときはゼロ歳。自分の誕生日になって初めて一歳となります。こういう年齢の数え方を満年齢と言います。昔は、数え年と言って、生まれた瞬間に一歳、そして元日になると誕生日に関係なくみんな一斉に年を一つ取ったのです。すると、大晦日に生まれた子はどうなるのでしょう。生まれた31日は一歳。次の日の元日には二歳になっているのです。たった一日で二歳になるのです。びっくりですね。

年末年始の過ごし方は、このほかにもたくさんあります。その一つひとつに大事な意味があることをぜひ知ってほしいと思います。そしてこの一年を無事に過ごせたことに感謝の気持ちを持ってほしいと願っています。

安全で楽しいよい冬休みであることを心から祈っています。三学期、みんなの元気な顔を楽しみに待っています。

学校評価の結果

先日２学期を締めくくる意味で、児童や保護者のみなさんを対象に学校評価アンケートを実施しました。

児童が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答だったのが、「授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいる」「宿題は毎日きちんとやりとげることができている」「自分の考えを人前でしっかり話すことができている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「人が困っているときには、進んで助けている」「友だちと、なかよく過ごすことができている」「毎朝、朝ご飯を食べている」などでした。本校の児童たちは、毎日楽しく学校生活を送り、自分から進んで学び、宿題も確実にやり遂げ、友だちと仲よく過ごし、いじめはいけないという人権感覚をきちんと持っています。朝の会など、人前で話す経験を多く積み重ねてきていることで、話す事への自信がついてきているという日々の積み重ねの大切さも感じました。しかし、「家で決まった時間に学習ができていない」「読書する時間が少ない」などの回答があったのが心配なところです。保護者の方からも「家庭での勉強時間が短い」「読書をしない」「メディアコントロールの約束が守れていない」「普段気持ち良いあいさつができていない」などの回答があり、家庭学習やメディアコントロール、あいさつの習慣が心配されます。今後、学校と家庭が連携し、家庭学習の充実や規則的な家庭生活、そして子どもたちが安全に過ごせ、気持ち良い挨拶の習慣がつくように話し合っていきたいと考えています。

１月の行事予定

９日（火）３学期始業式　午前中授業、給食あり
１１日（木）児童集会
１５日（月）～３１日（水）校内書初展
２３日（火）新入生説明会
２４日（水）移動図書館

今月の多羅尾っ子

かしこく　あたたかく　たくましく

２０２３年も残りわずか。新しい年を気持ちよく迎える準備が進んでいます。
ぜひよい新しい年を迎えたいと思います。

人権週間　～相手への思いやりをもって行動しよう～

一人ひとりの人権を尊重し、他人を思いやる心とともに、自分が人のためにできることを考え、行動に移すことができるようになるよう、道徳や学級活動での学習、人権に関連する図書の読み聞かせなどに取り組みました。さらに１２月５日（火）には福祉体験学習として高齢者体験の学習をしました。滋賀県介護福祉士会から白井徳典様に来ていただきました。体験のお手伝いに多羅尾在住の奥嶋たみ子様、他１名様にも来ていただきました。体験をしたことで、相手の立場を思いやり、先入観にとらわれることのないようにものごとをみていくことが大切だと学ぶことができました。

交通環境学習　１２/７（木）

甲賀市公共交通推進課の井用様、山口様に来ていただき、バスの乗り方やマナーについて学習しました。本校はバスを利用している児童が半分を超えており、公共マナーについてしっかり学習することができました。

折り紙教室　１２/１３（水）

多羅尾公民館で小松順子様、髙畑照子様に折り紙を教えていただきました。新しい折り方を覚えていろいろな折り紙に挑戦しています。